



長期留学体験談（コリア語圏）

2025年度 韓国カトリック大学（韓国）

M.K.（国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2025(R7)年度留学）

自分にとって大きな挑戦となる留学を決意し、出発前から留学中まで多くの葛藤を経験しましたが、その過程で改めて自分自身と向き合い大きく成長することができたと感じています。これまでアルバイト中心だった大学生活ですが留学先では自分にフォーカスする時間が増え、毎日の自主学習や週末の活動など、充実した日々を過ごすことができました。

留学中、多国籍の学生と出会いました。楽しいことがほとんどですが、時には価値観や熱量の違いからトラブルになる友人たちの姿を目にし、大変さを感じる場面もありました。しかし、その経験を通して、改めて多様性を理解し、相手を尊重することの大切さを学ぶことができました。

教科書では学べない実際に韓国で生活してみたからこそその発見もあります。電車で席が空いていることを教えてくれるお年寄りや、困っていると助けてくれる韓国人の大学生、親身になって指導して下さった先生方、家族の一員のように迎えて下さった友人のご家族など、想像していた以上のたくさんの温かさに触れました。そして帰国した今、今度は私自身が誰かを支える番だと感じています。受け取ったこの温かさを今度は私が誰かに返していきたいです。

そして、この4ヶ月間のことをふと思い出したときに、楽しかったなと心から思える大切な思い出として残していきたいですし、これから先どんな困難に直面しても怖いものはないと感じられるほど、今は自分の自信につながりました。

そして何より、背中を押してくれた友人や家族、サポートして下さった両校の職員の方々、留学先で出会い親切にしてくださったすべての方々への感謝の気持ちでいっぱいです。これらのご縁と経験、感謝を胸に今後の生活や学びに活かしていきたいと思います。

2025年度 韓国カトリック大学（韓国）

A.K.（国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2025(R7)年度留学）

この10ヶ月間の韓国留学を通して、語学力向上だけでなく、人としての考え方や姿勢において大きな成長を感じることができました。元々、韓国で生活したいという漠然とした思いから韓国留学を決意し、最初はワクワクが止まりませんでした。旅行と違い、留学は想像していた以上に大変なことも多く、何よりも韓国人や他国の子と交流する機会が少なかったため、語学力向上の面や人脈を広げることに対し焦ることもありました。異なる環境に身を置くことで自分から行動する必要性を強く感じ、積極的に人と関わる姿勢が身につき、自ら交流という場を作ることで、多くの出会いを経験することができたと思います。また多国籍の友人と出会い、様々な価値観に触れたことで、物事を多角的に捉える視点を得ることができました。ネガティブ思考だった自分を見直すきっかけとなり、「将来を過度に心配するよりも、今与えられた時間でどれだけ楽しむことができるか」という前向きな考え方に変えたことで、より一層留学生活を楽しむことができたことと実感しています。さらに留学終盤では、韓国人の友人に韓国語の実力を評価してもらい、TOPIK 6級を取得した時は、大きな自信にも繋

がりました。この留学で支えてくださった国際センターの皆様、家族、友人に感謝し、留学で得た数多くの学びを忘れずに、今後も自分の人生に活かしていきたいと思えます。

2025 年度 ソウル女子大学（韓国）

M.M.（国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2025(R7)年度留学）

私が今回の留学を通して得た最大の学びは、「目標に向かって努力を継続すれば、自分が納得できる成果を得られる」という確信でした。そのように感じた理由は主に2点あります。

1点目に、4カ月という限られた期間の中で、学業と人間関係の両方に全力で取り組み、帰国後に「悔いはない」と胸を張れるほどの充実感を得られたからです。両立を図るためには、単なるスケジュール管理だけでなく、生活習慣や体調の維持も重要でした。私は毎朝ToDoリストを作成し、優先順位を意識しながら1日を過ごすことで、限られた時間を最大限に活用することができました。

2点目に、全科目で最高評価であるA+を修めることができたからです。韓国語で行われる授業に遅れを取らないよう、毎日図書館や自室で復習ノートを作成し、理解が曖昧な点は繰り返し確認しました。自ら計画を立て、継続的に取り組んだ努力が結果として実を結んだことは、大きな達成感につながりました。

生活面でも、多くの年下の留学生と関わる中で、「頼れる存在でありたい」という意識が芽生え、行動にも責任感が伴うようになりました。周囲から「優しいオンニ（お姉さん）」と呼んでももらえるようになったことは、自分の変化を実感する大きなきっかけとなりました。また、日本人としての礼儀や態度にも一層注意を払い、異文化の中でどう振る舞うかを考える機会にもなりました。

今回の留学で得た行動力、計画力、そして多様な価値観を理解し尊重する姿勢は、今後の人生において必ず活かされると信じています。特に、これから始まる就職活動においては、明確な目標を定め、それに向かって自分なりに努力を積み重ね、納得のいく結果を目指していきたいです。

2025 年度 韓国カトリック大学（韓国）

K.K.（心理学科 2025(R7)年度留学）

私は現在、大学で心理学を学んでいますが、これまで学んできた韓国語を通じて、心理学の知識をさらに広げたいと考え、韓国への留学を決意しました。また、1年生の頃から参加している日韓の国際学生団体において、より流暢に韓国語を話し、韓国の文化を深く理解するメンバーになることも目標の一つでした。韓国カトリック大学での留学生活では、午前中に語学堂で韓国語を学び、午後は大学の韓国語による講義に参加していました。語学堂では課題の量が非常に多く、その勉強に多くの時間を割く必要がありました。その際、大学の授業の予習・復習に十分な時間を確保できず、学習時間の使い方を真剣に見直すようになりました。1分1秒の大切さを実感し、自分に合った学習スタイルを再確認しながら、効率よく計画を立てるよう心がけました。例えば、モチベーションを保つために週末には遊ぶ予定を入れ、自分が学習に集中できる夜の時間帯には、寮の自習室を閉まる直前まで活用しました。その結果、課題処理のスピードも向上し、語学堂と大学の授業の両立ができるようになりました。このような力は留学をしなくても得ることができたと考えますが、短期間で解決しなくては

けないという環境が私の成長を大きく後押ししてくれたと感じています。また、韓国で人脈の重要性を再認識できました。生活面では、現地での困難に直面した際、韓国人の友人や日本人の仲間の支えを受けることで乗り越えることができました。韓国では人とのつながりを非常に大切にす文化があり、その中で「頼れる人がいることの心強さ」を実感しました。この経験から、人とのつながりをより一層大切にしようとする意識が芽生えました。元々韓国に関心を持っていた私にとって、今回の留学や目標としていた国際学生団体での活動は、「日韓のつながりの中に自分がある」という実感を与えてくれる貴重な経験でした。将来、韓国に関わる仕事に就くかどうかはまだ分かりませんが、韓国留学で学んだ価値観や日本とは違った政治や歴史の見解を体感した経験を、これからの人生や学びに活かしていきたいと考えています。

2024年度 韓国カトリック大学（韓国）

H.O.(人間関係学科 2024(R6)年度留学)

幼いころから、憧れと親しみを持っていた韓国文化の中で生活した半年間は本当に充実していました。特に、同世代の韓国人学生と交流することで沢山の刺激を受け自分自身を成長させる機会となったと思います。この成長は現地に留学したからこそ得たもので貴重な経験をすることができました。私の留学の目標は韓国語の語学能力を向上させること、新たな価値観を身に付け自分の世界を広げることだったので、毎日目標を持ち積極的に韓国人と交流する時間を作りました。今まで同世代の韓国人の友人はおらず、韓国の文化的な部分に興味関心を抱いてきましたが、実際に韓国人学生と交流してみるとみんな勉強熱心で視野が広く同世代の学生として考えさせられることが多かったです。所属学科を問わず、日本や海外の文化に興味を持ち言語を学び、実際に自分ができる活動をしている姿を見ると自分も今後の学生生活をより一生懸命過ごそうというモチベーションになりました。留学経験を通して、韓国の文化をよく知り日韓の架け橋になれたらよいと思っていましたが、今回の経験だけでとどまらず日本にいなながらもできること、今の自分の視野を広げられる活動をしていかななくてはならないと思われました。また、今回の留学で日本の文化に興味を持つ韓国人学生たちのおかげでとても充実した生活を送れたので、私も日本に留学している外国人の助けになれたらいいと思います。将来については、韓国語の能力やこの留学で培った価値観を活かせるような職業に就きたいと考えています。

2024年度 韓国カトリック大学（韓国）

R.K.(国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2024(R6)年度留学)

私は、韓国語能力の向上、自立、そして韓国の文化や習慣、社会問題についての見聞を深めることを目的として韓国に留学した。この留学経験では、人生で初めて自分がマイノリティーであることを強く意識し、常に自ら行動し、表現する必要性を感じた。留学先では日本人学生が非常に少なく、留学生と韓国人が交流する場もほとんど設けられていなかった。そのため、自分でサークルを探し、勧誘活動を行い、通訳として働きながら宣伝活動にも携わった。これらの経験を通じて、自己表現力や

コミュニケーション能力が大きく向上し、さらに他者を尊重し相手の価値観を理解する力も身に付けることができた。

特に印象的であったのは、後期に所属したバスケットボール部での経験である。この部活では、私が設立後初めての交換留学生であった。同じ境遇の人がおらず、韓国語での専門用語や、日本とは異なるバスケットボールのルールや練習方法に戸惑うことも多かった。しかし、分からないことをそのままにせず、積極的に質問をし、周囲とコミュニケーションを取る努力を続けた結果、次第に馴染むことができた。練習や試合を通じてチームメンバーとの関係も深まり、韓国での人間関係の築き方を学んだと共に、異文化の輪の中での協力、深い信頼関係構築の難しさも学んだ。

その他、同年代の韓国人たちと日韓関係や政治について話し合う機会も多くあり、その中で多くのことを学ぶことができた。また、そうした議論を通じて互いを尊重し、信頼し励まし合える韓国人の友人を作ることもできた。異なる価値観を持つ人々と対話し、理解を深める大切さを改めて実感させるものであり、とても貴重な時間であったと思う。

この留学では、国際センターや家族、周りの方々の支えの元、とても充実した経験をすることができた。韓国語や文化の理解を深めるだけでなく、異文化の中で主体的に行動する力や精神的な成長をもたらしたと思う。これらの経験で得た経験と知識は、今後の人生においても大いに役立つと確信している。これからもこの留学経験を糧に、様々なことに挑戦して参りたい。

2024年度 ソウル女子大学（韓国）

N. I. (人間関係学科 2024(R6)年度留学)

今回の留学で自分自身が成長したと感じる点は、大きく分けて学習面と生活面の二つです。まず、学習面です。私は留学当初、韓国語能力のスキルアップと、異なる価値観の中で自身の専門分野の授業を受講し、多角的な思考力を養うことを目標としていました。韓国語能力のスキルアップについては、毎日の授業が韓国語で行われ、ディスカッションやプレゼンテーションなどがあるため自己表現力や論理的思考力も鍛えられます。そのため留学後半には生活する上でも授業を受ける上でも特に困ることがないほどスキルアップしたと感じました。また寮の韓国人のルームメイトとの会話を通じ、実践的な韓国語のスキルを磨くことができたと感じています。専門分野の授業を受講することで、語学だけでなく、色々な角度で物事を考える力も身につけることができたと感じています。次に生活面です。韓国の文化や習慣は日本とは似ている部分も多いですが、食文化やマナー、社会的なコミュニケーションの取り方など異なる部分も多くあります。そのため少し苦労することもありましたが、同時に異文化に触れる面白味を感じ、更に韓国文化に対する知見を広げたいと感じました。これらの経験を活かし、今後は韓国支社がある日本企業に就職し、日韓の架け橋になる役割を果たしたいです。両国の文化やビジネスの違いを理解し、相互理解を深めることで、より良い関係を築く手助けをしたいと考えています。また今回の留学で得た知識と経験を活かしながら活発化する国際社会に貢献していきたいです。そして異なる価値観に触れること、挑戦することの大切さを忘れず、成長し続けていきたいです。

2024 年度 ソウル女子大学 (韓国)

S.O.(国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2024(R6)年度留学)

留学で得られた経験はいくつもありますが、どんな点が特に良かった、また留学のおかげで得ることができたと感じているかと問われたら大きく挙げて2点あります。まず一つ目は、何事も自分から行動、挑戦することが大切ということです。私はもともと慎重な性格で、何事も計画を立ててリスクを考える性格だと思っていますが、留学先では「どんなことにもイエスと言う」をモットーとして行動をするようにしました。もちろん、危険なことやルールや規則に違反するようなことはしませんが、こんなことに挑戦してみないか、こんな活動があるけど参加してみないか、友人を紹介したいけどぜひ会わないかなど、前までの自分なら怖かったり心配して肯定できなかったものにもすぐに挑戦、返事をする事で新たな出会いや新しい価値観・視点を見ることができて自分では見つけることができなかつた新たな一面を発見することができたなと感じています。そのおかげで韓国語の能力だけではなく自分の精神的な面でも大きく成長した一年になったのではないかと思います。これからは韓国人の友人にも韓国語の実力が上がったことで韓国で仕事をする事を勧められたりもしたので、出来れば韓国語を活かせる仕事がないか探しながら就職活動に活かしていきたいと思っています。

2024 年度 ソウル女子大学 (韓国)

S.O.(国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2024(R6)年度留学)

韓国に実際に住んでみたからこそ自然な表現の仕方やスラングなども学べましたし、ルームメイトと生活していたためわからないことや気になることがあればいつでも聞くことができたので、その点は学習面でとてもありがたかった部分だと思います。留学で得た語学力でまずは TOPIK6 級を取得し、将来的には韓国語を活かせる職業に就けたらと思っています。また生活面では、渡航前から、外国で生活するにあたって日本での当たり前や偏見などを捨てて生活することを心がけようとしていたのですが、日本と大きな文化の差を感じることは少なく、そこまで心構えをする必要もないほど生活しやすかったです。ルームメイトやその他の授業で出会った友人たちも、私が日本人だからという扱いではなく一人の友人として接してくれ、とても良い出会いだっと思えました。これから社会に出ればより多くの人々と関わる機会が増え、外国人の方との交流も多くなるのかと思いますが、私自身が外国人という少数派の立場で他国で過ごした経験をそういった場で活かし、相手をより理解し円滑にコミュニケーションが取れる立場になれるのではないかと思います。留学を終えて、留学に行く選択をしてよかったと心の底から思っていますし、他国の文化を身を持って体験できるというのは貴重な経験であり、世界を見る目だけでなく日本で生活する上での価値観も変わります。日本で当たり前だったことが当たり前じゃなかったり、逆に韓国では当たり前なことが日本では当たり前ではなかったりと、ずっと日本にいたらわからなかったことを知ることができたというのが最も大きな収穫でした。

2024 年度 ソウル女子大学 (韓国)

M.K.(英語文化コミュニケーション学科 2024(R6)年度留学)

海外で1人で生活することはとても不安でしたが、生活していくうちに自分に自信を持つことができたのでとても良い経験になりました。最初は1人で外にでることも不安でしたが、様々な人と交流したり、学ぶことによって恐怖がなくなりました。日本でも親元を離れて生活していましたが、海外と日本では環境も変わるので慣れるまで大変なことも多くありましたが、そこからどうすれば改善されるかなどを改めて学ぶことができました。実際に自分の目で文化の違いなどに触れることによってより理解を深めることができました。韓国人と交流することで自分の語学力を向上させることができたり、現地の人から直接学ぶことができたのですごく早い速度で自分の実力が伸びているなどおもいました。日本の同年代とは、少し違う視野を持っていて新しい学びがとても多かったです。また韓国の文化について知らなかったことも多く新しい学びが多かったです。もともと韓国の文化について関心を持っていましたが、現地でしか気づけなかったことや韓国人と交流することによって学んだことが多くあり、留学を通してしか学ぶことができないものが多かったと実感しました。留学を通して様々なことを学ぶことができ、自分の視野を広げることができました。これからは、国際関連の仕事に就き今回の海外生活を生かしていきたいと考えています。韓国に留学しましたが、大学には様々な国籍の学生がおり、国際交流をすることができました。自分が知らなかった世界がまだまだあることに気づき、もっと様々な世界や文化に自分で触れたいとより強く思いました。

2023 年度 韓国カトリック大学 (韓国)

R.W.(国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2023(R5)年度留学)

私は語学力の向上と日韓の文化の違いについて学ぶことを目的として留学を決意しました。実際に1年間の留学を通して、この目的を達成することが出来たと実感しています。学習面においては、語学堂に通いながら大学での専攻科目を履修することで韓国語の実力を伸ばしながら専攻科目の講義を受けていたためより理解を深めることが出来ました。大学の講義は母国語でも難しいものが多いと認識していたため韓国語初心者の私は前期は韓国語での講義の履修をやめ英語での講義を履修しました。前期の間に韓国語力が伸びたため後期には韓国語での講義も履修しました。日本の文化や日本語を言語学的に学んだことは今まであまりなかったですが、日本について学ぶ韓国人学生と同じ講義を受講することで韓国人が日本についてどのように感じているのかを学ぶことが出来ました。生活面においては留学期間は限られた時間であるため、なるべく韓国の文化に自分から触れに行こうと週末には外出をすると決めていました。旅行では行けないような伝統的な建造物を見に行ったり、韓国人の友人と出かけたりして韓国の文化や韓国語に触れるよう心がけていました。そうすることで今までは気付かなかった韓国ならではの特徴を知っていくことが出来ました。また寮生活でルームメイトと生活することや異国の地でのハプニングを自分の力で乗り越えたため順応性を身につけられたと実感しています。今後の計画としては、留学期間を通して培った価値観に合った職業に就きたいと考えています。直接的に韓国との関わりがない職業でも留学を通して身につけた貴重な感覚や能力を活かした働き方をしたいと思っています。コロナ時代は留学が出来なかった学生も多い中で私は時期に恵まれ自分が思い描いていた以上の留学

生活を送ることが出来たため、貴重な人材として日本と韓国の架け橋になれるよう努めていきたいと思っています。

2023年度 韓国カトリック大学（韓国）

S.A.(心理学科 2023(R5)年度留学)

私は語学力向上と日本では取り上げられない、また日本寄りの歴史になってしまうため日本では学べない韓国の文化・歴史を学ぶことが留学の目的でした。

今思うと恥ずかしいですが、留学前は韓国語にも少し自信があり、そんな心配はいらないだろうと考えておりました。しかし、韓国に来て自分が知らない単語や聞きなれない言葉が飛び交うため、急に不安になり日本に帰国したいという気持ちが強くなってしまいました。語学堂、大学の授業が始まりその不安はさらに強くなり、私はあと4ヶ月やっていけるのだろうか、自分の目的は果たせるのだろうかかと不安に思うようになりました。しかし、授業を受けていくうちに韓国語に少しずつ自信を持てたり、韓国語で話すこと・聞くことに慣れてきたりととても楽しく時間が過ぎていきました。また、韓国の学生と交流し韓国の文化について学び、自分が知らなかったことがやはり多く、聞いていてとても興味深かったです。一緒に発表をした韓国の学生も発表の準備中とても優しく韓国語をゆっくり話してくれたりそれ以外にもカカオトークで心配してくれました。

韓国と日本の政治面では以前より良好になっているものの、とても良好というわけではないと留学し改めて感じました。もっと良くなればと思いますが、私が履修した授業の中で少しか竹島の話になり、教授が竹島は韓国のものであるが日本は日本のものだと言いつづけているのを聞き、そんな簡単なものではないのだと痛感しました。その中でも日本の文化、日本自体に興味を持ってくれている韓国人が多く、日本人としてとても嬉しく思いました。日韓がもっとお互いに理解し、歩み寄ることは大事だと考えていますが、まずは日本が好きだと言ってくれている韓国人に対して温かい心を持てる社会になるよう少しでも手助けできればと感じています。

2023年度 ソウル女子大学（韓国）

A.K.(哲学科 2023(R5)年度留学)

私にとって韓国への長期留学は初めてでした。今回の留学で大きく成長できた点は主に大きく二つあります。一つ目は学習面です。特に言語面では、韓国語を実際の日常生活で使うことで、リアルなコミュニケーションの場面での習得ができます。実際に、日本にいて先生から教えてもらい授業内で話す際に身に付く語学力だけではなく、スーパーやレストラン、友人との交流などさまざまな状況で韓国語を使うことで、言語の使い方やニュアンスを理解することができます。二つ目に生活面です。留学生活は自己成長の機会でもあったと思います。新しい環境での生活や学習、異文化交流に挑戦することで、自己の能力や限界を知り、成長することができます。また、留学先での生活や日常生活の管理を通じて、自立心も養うことができました。計画と目標を設定、新しいことへのチャレンジなど自己管理能力や自己統制力を高めることで、充実した留学生活を送れたと思います。また文化を直接学べるということで、韓国の伝統文化や現代文化を直接体験することができます。伝統的

なお祭りや行事に参加し、韓国の歴史的な場所を訪れることで、韓国の文化や歴史に触れることができます。また、K-pop やドラマ、映画などのポップカルチャーを通じて、現代の韓国社会や若者文化を理解することができます。これらを大学やサークル、バディーなど現地の学生と一緒に活動できることは留学ならではの体験だと思います。以上のように留学で得た経験は多くあります。この留学を通して、将来のキャリアや個人的な成長に活かしたいです。また、言語能力の向上や異文化理解を通じて、国際的な環境でのコミュニケーション能力を強化し、グローバルな視野を持ったリーダーシップを発揮したいです。また、ここで出会えた現地の友達とはこれからも定期的に連絡をとり、仲を深め生涯の友人となれるような良好的な関係を築いていきたいです。

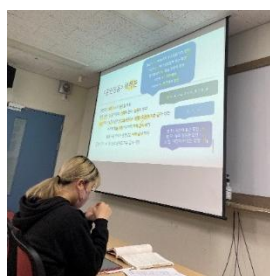
2023 年度 ソウル女子大学（韓国）

K.M.(日本語日本文学科 2023(R5)年度留学)

私にとって留学は初めての経験で、不安なこと、辛いこともたくさんありましたが、その分楽しく、また人として成長できた機会だと感じています。TOPIK4 級まで取得して留学に行ったのですが、留学当初は想像していたよりも意思疎通で苦労して、買い物するだけでも一苦労で自分の語学力に失望したこともありましたが、自分なりの方法で伝えたり、韓国人の友人を作って韓国語を使う環境を自分から作るよう努力しました。そして、アルバイトを3つ経験し多くの人に出会って、経験したたくさん勉強できた機会でした。周りの韓国人の友人に、「あなたとは外国人の友人ではなく、一友人として一緒にいれる」と言ってもらえた時には、自分の成長を大きく感じ嬉しかったです。また、目標としていた TOPIK6 級合格も韓国語力の成長を強く感じました。私は、安全志向な性格で今までは新しい挑戦にはあまり挑まなかったのですが、この留学を通し最初は「留学だから」という気持ちからさまざまなことに挑戦してみました。それを通してたくさん学ぶことができました。

1年は長いようで短いあっという間な時間でしたが、「自分と向き合い」また「異文化を学ぶ」ことのできた濃い一年になったと思います。学校には、韓国人だけでなく、アジア圏、ヨーロッパ圏などさまざまな文化を持つ学生が在籍していました。授業で意見を交換し合う際には、新たな発見に出会うことができ、毎日がとても新鮮でした。授業では、受動的に聞くのではなく、能動的に自身の考えを発言することや授業内発表なども多く、そのような環境からいつしか自分の意見を持ち発言できる力が身についたように感じます。

この1年、海外で一人で生活したことは、自分自身にとって大きな経験になり、自信を与えてくれる物になったと思います。何かに挑戦してみるものの面白さや、そこから得られるものに気づけたことは、今後の自身の成長にも繋がってくると思います。また、留学中に会った友人、先生、上司や、恵まれた環境下でやりたいことに挑戦できる環境をくれた両親、大学に感謝しています。この経験を活かして、将来さまざまな場所で活躍できる人材になりたいです。そして、常に新しいことに興味を持ち挑戦し成長していきたいです。



2023 年度 ソウル女子大学 (韓国)

C.N.(英語文化コミュニケーション学科 2023(R5)年度留学)

私は大学2年生の夏に参加した外務省主催の対日理解促進交流プログラムで、語学力不足を実感し、その経験から今回韓国留学することを決意しました。

今回の留学を通して、現地で実際に生活した経験や同世代の韓国人との交流から、自分の興味関心のある国の理解を深めることが出来たため、今回の留学の目標を達成することができたと思います。また、履修選択した文化理解に焦点を当てたディスカッション形式の授業で、自身の意見を求められるだけでなく、異なるバックグラウンドを持つ人々の意見を聞くことで、新たな視点から物事を知る貴重な機会となりました。そして、今回の留学生活で軽いフットワークとチャレンジ精神を持って行動に起こすことの重要性を実感しました。積極的に友達を作り、韓国語でのコミュニケーションを取る環境を自ら作ったことで、留学前よりも韓国語を話すことに対して自信が付き、韓国語で自身の意見を述べるできるようになりました。また、授業を通して異なる文化背景を持つ友人たちとの交流を通じて、韓国だけではなく、ベトナムやフィリピンなどの友人を作ることが出来、交流の輪を広げることができました。

この4ヶ月間の留学生活は充実した毎日を送ることができ、とても短く感じました。毎日充実した生活を送ることが出来たと思えるのも、韓国で出会った友人たちが私に対して優しく接してくれたからだと思いますし、私が韓国に魅力を感じる要因の1つは韓国人が持つ情だ実感しました。これからもこの出会いを大切に、今後も友人たちと連絡を取り続けたいと思っています。最後に、もし留学することを決意していなかったら後悔していたでしょうし、自分の意見を尊重してくれた両親に感謝しています。これからも留学で得た自身の強みを活かし、新たな挑戦に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

2022 年度 韓国カトリック大学 (韓国)

N.S.(国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2022(R4)年度留学)

私は、韓国語能力の向上と将来の日韓友好の架け橋になれるよう韓国の習慣と文化、社会問題などを見聞を広めることを目標に韓国へ向かいました。

コロナ禍のため当初の講義はハイブリッド形式で、学生との対面交流が容易に出来なかったのですが、友人になった韓国人の学生に依頼して他の学生を紹介してもらいました。私自身も韓国人の友人を日本人留学生に紹介するなど少しでも日韓交流の輪を広げられるように努力し続け、韓国人学生と共に1つの大きなものを作り上げるという挑戦をしました。それは3年ぶりに対面で実施されたカトリック大学の学祭に、中央学祭運営委員会に初の外国人スタッフとして参加したことです。最後までやり遂げる責任感をもって臨機応変な対応が求められるイベント運営の仕事を通して、韓国での人間関係を学べる貴重な体験となりました。大きな文化イベントの運営を通して、現地の学生と共にイベントを成功させたという達成感とともに、改めて自らの韓国語能力の未熟さ・韓国人学生の輪の中での協働の難しさを感じましたが、韓国文化に対する新たな気付きもあり、自ら成長できた良い機会だとポジティブに捉えることができました。その後も、講義等で積極的に討論に参加したり、グループ

で短編映画を制作する、低所得者層の方々が厳冬を過ごせるために練炭配布のボランティアに参加するなど様々なことに挑戦しました。

コロナ渦での慌ただしい留学でしたが、大学の先生方・国際センターの皆様、両親、奨学金財団のご支援、韓国カトリック大学の皆様の手厚いサポートのおかげで、現地での学生生活に積極的に取り組むことが出来ました。この貴重な経験は、私の思い描く目標をさらに具体的にできたと確信しています。今後は今回の留学経験を糧に公的な日韓の文化交流事業に関する仕事に携わり、日韓両国の間にある大きな障壁を取り除きたいという目標に向かって邁進したいと考えています。

2022年度 韓国カトリック大学（韓国）

R.A.(英語文化コミュニケーション学科 2022(R4)年度留学)

入学当初からオンライン授業が続いていた私の大学生活でしたがこの1年は世界も段々と普通の生活を取り戻し、私自身も大学生らしいことをたくさん経験することのできた1年間だったと思います。

入学当初は、なんとなく海外に行きたいな～くらいにしか思っていませんでしたがコロナ禍でダラダラと時間が過ぎてしまい、いざやりたいことを考えたときに出てきたのが「留学」でした。そこからは校内のお願いに向けてすぐ準備をし始めましたが、あまりに急に留学を決めたため語学の勉強が追いついていない状態でした。そのため韓国に渡航した当初は、正直に言って私の語学力は現地で通用するほどの実力ではなく、初めはなにをするにも時間がかかり、とても大変でした。友達と話していても私だけ聞き取れず話に入っていけないなんてこともよくありました。しかし私は自分が韓国語をできないと理解していたので（笑）比べるのではなくどんどん質問するようにしました。話の途中で「これってどんな意味？」と聞くと話が遮られてしまうのですがみんなは嫌な顔一つせず私ができるように説明してくれたり、翻訳機を使って教えてくれたりしました。

そうして韓国で暮らしながら勉強していくにつれて相手の言っていることが聞き取れるようになり、友達ができ、韓国語を通していろんな人々とコミュニケーションをとることができるようになりました。留学では勉強もして（講義は発表やグループでの課題が多いです）、自分自身成長することができたと実感しています。留学にくる前までは大学生活で本気で頑張ったことは何だったのだろうと自分でも曖昧でしたが今はこの1年間は本当に頑張ったと自信を持って言うことができます。

韓国では日本との歴史的な側面が垣間見えることもあり、日本人としては考えさせられることもありましたが、（映画やドラマの内容、歴史的建造物にも日本が関係していたりします）そんな複雑な日韓関係の中でも私に親切にしてくれた人々がたくさんいました。この1年間、ここには表すことのできないほど様々な出来事、そして感じたことがありました。この経験を無駄にはせず、どのように生かしていくかはこれからの自分次第だと思います。どんな環境でも自分で考えて行動して自分の納得する未来を切り開いていきたいと思っています。

2022年度 ソウル女子大学（韓国）

H.K.(国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2022(R4)年度留学)

大学生のうちに長期留学をしてみたい、そんな漠然とした目標のもと私は大学に入学しました。しかし、コロナにより世界中が大きなパンデミックに翻弄されていた当時、海外に行くことすら不透明であり、留学とは程遠い自粛期間を過ごす事となりました。そんな時参加したのが、短期オンライン留学です。オンライン留学での学びや出会いを皮切りに、やはり画面上ではなく"実際に現地へ渡りたい"と考え始め、今回の長期留学に参加しました。

約1年という留学期間は長いようで凄く短く、"異文化社会で学ぶ"という事、そして"自分自身を知る"という点において、非常に貴重な時間を過ごすことが出来たと思います。留学先大学には、韓国人だけでなくアジア諸国や米国、ヨーロッパなど様々な国の留学生在籍していました。文化的背景が異なれば、当然物事を考える角度や視点も大きく異なり、意見を交わすことではじめて見えてくる新たな発見に囲まれ、刺激ある日々を送りました。講義形式の授業でも、ディスカッションを挟むことで能動的に学ばせる形式の授業が多く、"自分の考えを主張し、他者の意見に耳を傾ける"そんな学習姿勢がいつしか抵抗なく身に付いていたように思えます。

今回の留学は、本当に大きな意味を持つ貴重な経験となったと同時に、私自身に自信を与えてくれるものとなりました。自ら行動し挑戦する楽しさを身をもって証明した事で、学習面、生活面共に成長できた1年であったと思います。興味のあることに思いっきり打ち込める環境を与えてくれた両親や大学、友人に感謝し、必ずこの経験を将来に活かせるよう努力したいと考えています。

2022年度 ソウル女子大学（韓国）

H.N.(日本語日本文学科 2022(R4)年度留学)

私は、今回の留学で自ら積極的に行動する力を身につけられたのではないかと思います。実際に現地に出発するまでももちろん、自分で書類を準備したり、必要なものを揃えたりなどもしましたが、基本的には国際センターの職員の方を通して行っていただくことが多かったです。

しかし、実際に留学が始まってみると想像以上に自分自身で意識してやらなくてはいけないことが多くありました。何かわからないことや不便なことがあっても、まずは自分で調べて解決するというようなことが何度かありました。最初のうちは少し混乱することや不便に感じることもありましたが、段々慣れてくるとその先のことを想定して行動をするようになりました。たとえば、何かを申請するときは返信に時間がかかったとき、不備があったときを想定して申請期間の初日に行く、生活をしていて気になることがあったら、積極的に事務室を利用して解決するなどコミュニケーションをとることをためらわずできるようになりました。言語が異なる国に行くと、やはり相談することやお願いをすることに怖さを感じ委縮しがちだと思います。私も最初はそうでした。しかし留学を経験してみて、言語が違う国だからこそ、たくさんコミュニケーションをとることが大切なのだと思いました。最初はつたない韓国語で簡単に伝わらないこともありましたが、こちらが解決したいという意思を伝えれば、相手も話を聞いてくれます。まずは思った時に思い切って行動に移すことが大切であると学び、積極的に行動する力

を身につけました。今後はこの留学経験を活かして、コミュニケーションを沢山とることが出来る人、自分がすべきことを自分で探して行動できる人になりたいと思います。

2022年度 ソウル女子大学（韓国）

A.A.(国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2022(R4)年度留学)

私にとって留学は今回が初めてで、この一年を通して本当に色々な経験をさせていただきました。語学力向上を目的として行きましたが、それだけでなく、人間としても成長できたと思います。留学は楽しいことも多かったですが、それと同じくらい辛いこともたくさんありました。

まず、渡航したばかりのころは、意思疎通で苦労しましたが、ジェスチャーや簡単な単語を使ってどうにかして自分の思いを伝える努力をしました。そして、アルバイトをしたり、韓国人の友達と半年間一緒に住んだり、様々な経験を通して、最終的に TOPIK6 級を取ることができました。最後にルームメイトに「話していて楽だから、あなたが日本人であることをよく忘れる」と言われた時には、努力の成果を感じ、とても嬉しかったです。他には、私は不測の事態に弱いタイプでしたが、海外で生活する以上頻繁にそのような事態が起きます。最初はうまく対処できず大変でしたが、焦らず冷静に考え、対応できるようになりました。また、手を差し伸べてくれる人もいて、出会いの大切さを改めて感じるとともに、人に頼ったり協力することの大切さも学びました。皆それぞれバックグラウンドを持っており、多様な考え方や価値観を学ぶことができました。留学で出会ったすべての人、そして、恵まれた環境の中で学び、生活できたことに感謝しています。

この1年、海外で一人で生活したことは、大きな自信に繋がりました。たくさん悩み、考え、挑戦し、多くの出会いが私を成長させてくれました。また、一度日本を出ることで、日本の良いところをたくさん見つけることができました。ずっと日本に住んでいると、全てが当たり前になってしまいがちですが、日本の良さを改めてもっとたくさんの人に知ってほしいです。私は別の国や言語にも興味があるため、この経験を活かしていつか再び海外に行きたいです。常にグローバルな視野を持ち、成長していける自分でありたいです。



2021年度 韓国カトリック大学（韓国）

W.H.(英語文化コミュニケーション学科 2021(R3)年度留学)

コロナ禍であったことも影響し、期待がありながらも不安と緊張との葛藤が多くあった。また、異国での2週間の自己隔離は精神的に辛い部分もあり、その中で一人どのように工夫して過ごすかという課題もあった。しかし、今のご時世特有の隔離期間という欠点による不安や怖さがありながらも、一旦行

動してみたことで、自分の心持ち次第でどうにでもできることを改めて実感でき、その後の学生生活や日常生活でプラスに活きたことが多くあった。

例えば、ほかの留学生や現地の学生と交流し、グループワークを行う際、通常より出会える方法や機会が限られている中積極的にコミュニケーションをとり、行動する原動力につながった。また、行動することによって得た自分でどうにかするという精神力が多く、多くの挑戦につながった。そして、コロナ禍であることが自身の足を引っ張らないよう考え、自分なりに工夫してまず動いてみることで、経験の幅が大きく広がったと感じる。もちろん、精神的な部分だけではなく学習面でも、現地で言語を日常的にも学問的にも使わざるを得ない状況に飛び込むことで、語学力はよりネイティブに近づき、自信にもつながった。

留学生活を通して得たものは、大きく言えば「挑戦力と実践力」だと感じる。今までは考えはあっても行動には移せず、中途半端で終わっていた時も何度かあった。けれども、留学を決心してから準備を含め向こうで生活したこともすべてやり切ったと感じる経験が、今後への大きな自信と自身の可能性を知る機会になったと考える。これから先社会に出て迷うことやためらうことがあっても、今回の経験で学んだ、まず取り組んでみる、飛び込んでみるという姿勢で向き合えば、最初は小さな変化でも、後に大きな変化とその後の可能性につながるという希望をもって挑戦することを忘れずに努力したいと考える。



2020年度 韓国カトリック大学（韓国）

R.A.(国際交流学科 2020(R2)年度留学)

私は「視野を広げること」を留学の目的としていましたが、実際にはそれがどういうことなのかあまりよくわかっていませんでした。しかしこの留学を通して、視野を広げることとは考え方が豊かになることだとわかりました。

留学をすると、本当に多種多様なバックグラウンドを持つ人に出会います。日本にいても考えの違う人に出会うことはありますが、それ以上に自分とは異なる考え方をする人とたくさん出会いました。そのような人達とコミュニケーションをしていく中でうまくいかないことは何度もありました。それでもなんとかその壁を乗り越えようとするとき、偏った考え方ではいつまでも克服することはできません。そのときに必要なものこそ広い視野であり、豊かな考え方でした。留学中にコミュニケーションの取り方に悩んだとき、学習面・生活面で困難に直面したとき、私はひたすら悩んで考えました。これまでの生活のなかで、これほど悩み、考えたことはないほど悩んで考えました。この「悩んで、考える」という過程が豊かな考え方に繋がり、視野を広げてくれたのではないかと思います。

また、私は周りに家族のように支えてくれる人がいない環境で自分の力を試してみたい、という思いで留学することにしました。実際に留学をしてみると、自分が今までいかに恵まれた環境にいたかと

いうことを実感し、これまで私を支えてくれた家族や友人の大切さや有り難さを感じました。豊かな考え方と広い視野で自分の環境、周りの人達に対する感謝を改めて実感したとき、私は人として成長できたと思います。留学中にも私を支えてくれた人はたくさんいました。その人達と今まで私を支えてくれた人達に対する感謝はいつまでも忘れずに過ごしていきたいと思います。また留学中の経験や反省を活かして、豊かな考え方と広い視野で常に向上心を持ち続けられる人でありたいと思います。



2020年度 韓国カトリック大学（韓国）

M.I.(国際交流学科 2020(R2)年度留学)

今までの人生の中で、これほど困難にぶち当たり、解決しようと模索し、目標を持って一生懸命行動してきた1年はないと思います。コロナ禍ということもあり、イレギュラーなことが多くありました。この状況で留学での目標を成し遂げるためにどうしたらいいのか考え、アルバイト、インターンとして日韓討論会の実行委員の経験、学校の韓国語発表会に参加し3位入賞するなどさまざまな活動を行ってきました。

このような経験の中で沢山の韓国人、韓国語を勉強している日本人に会い、将来を考える上で多くの刺激を受けました。語学力ももちろん伸びましたが、それだけでなく、内面的な成長がこれから大きく生かされてくると思います。留学で培ったこの行動力・対応力・自信が大きな武器になると確信しています。また、留学において「日本人としてのアイデンティティ」を考える機会が多くありました。外国にいと想像以上に自分が「日本人」としてみられます。日本とは、日本人とはについて大学生の時期に考えることは大きな意味を持つと思います。自分が外国人としての立場を経験することで、日本にいる外国人の立場の弱さに気がつきました。日本で生活していると、自分より立場の弱い人や外国人について意識する機会が減ります。これからは、日本にいても韓国だけでなく世界との結びつきを忘れず、常に価値観のアップデートを怠らない人になりたいです。



2020年度 ソウル女子大学（韓国）

Y.K.(史学科 2020(R2)年度留学)

大学に入学するまで韓国に特に興味がありませんでしたが、第二外国語の韓国語の授業が面白くて韓国に関心を持ち始めました。留学についての相談をした際、両親と意見が合わず衝突してしまいましたが、我儘を突き通し一年間頑張らせてもらいました。

そう心に決めて留学の準備を進めていた矢先、新型コロナウイルスが流行し始めました。無事に渡航はできたものの到着して1週間もしないうちに他大学から派遣された留学生たちが自分の国に帰っていく様子を見て、私の留學生活は一体どうなってしまうのか不安に駆られました。最初は慣れない土地での生活に順応できず、体を崩してしまったり、自分の韓国語の実力を周りと比較して落ち込んでしまったりすることもありました。しかし双方の国際センターの方々と一緒に留学に行った聖心のみんなに支えてもらい、とても充実した生活を送ることができました。

この1年間を通して韓国人と一緒に対面で受講した授業はゼロ。オンライン授業だと決定した時、海外まで来たのに家で授業を受けるなんて…と当初予定していた理想の留學生活とかけ離れたことに落ち込みもしましたが、誰も経験したことのないコロナ禍という制限された状況の中でできることは全てやってやろうと気持ちを切り替えました。まずは現地の人との関わりを作ろうとオンラインで日韓交流をするサークルに加入したり、交流会に行ってみたり、掲示板に自分の連絡先を投稿して友達を呼び掛ける等、恥とためらいを捨て日本にいるときよりも積極的に行動することを意識して毎日を送りました。そのおかげで度胸もつき、韓国語も自然と実力が伸びました。とは言っても専門的な内容を扱う大学の授業はとても難しく、講義動画を反復し勉強していました。授業は学生自身が作っていく主体的なスタイルなので課題や発表などがあり、自分の意見を求められる機会が多く戸惑うこともありましたが、日本との差を肌で感じることでできて楽しかったです。

この留学を経験して語学力はもちろんですが、学びの環境は自分次第でどうにでもなること、積極的に行動することの大切さを身に染みて感じ精神力も鍛えられました。これからも韓国と繋がりを持ちながら生活していきたいと思います。

2020年度 ソウル女子大学（韓国）

Y.A.(英語英文学科 2020(R2)年度留学)

私は今回の留学で人生において、大切なものを学ばせていただきました。それは、自信を持つこと、努力をすることの大切さ、人間の温かさです。第二外国語の韓国語を極めたいと思い留学を決心しましたが、いざ韓国に行ってみると韓国語の勉強以外にも学ぶことは沢山ありました。

日本にいた時までは自分の存在価値について否定的な考えを持っていましたが、韓国に留学をしてからは学校の授業などで韓国の方々に直接触れる機会が増え、韓国の方々の意志の強さや、自信の持ち方に感銘を受けました。そして、私もそのような人間になりたいと感じるようになる事が出来ました。そして、努力をすることによって人は強くなれるし、自信も持つことが出来るという事に気づきました。人間が生きていく中で大切なことを学ぶことが出来た今回の留学は、私にとってとても貴重な経験でした。これからの就職活動、そして人生において努力をして自信をつけることをしっかり生

かしていきたいと考えています。また、海外に一人で暮らすという経験から自立心を育成できたことと共に、今まで離れて暮らすことのなかった家族の大切さを再度実感しました。韓国でも韓国人の友人の家族と2か月間生活を共にするという貴重な経験をさせていただきました。外国人である私に対して自分の娘のように接していただき、一緒にショッピングやキャンプにも行き、家では料理をしたり、韓国の文化についても様々なお話をしてくださいました。そして、学校のバディー制度で友達になった友人も私に韓国で素敵な思い出を残してほしいと2か月間という短い間にも関わらず私のために時間を削って案内したり話をしてくれました。

このような事から今回の留学では人間の温かさも身に染みて感じることができました。今後も留学で培った知識や経験を生かして常に努力をしていく人間になりたいと考えています。